



日野小学校

豊かな自然と清らかな水、歴史と文化と人々のあたたかい心に包まれている日野小学校。本校では、そんな恵まれた環境を生かして、地域とともにSDGsの活動に取り組んでいます。

地域の自然環境を通して学ぶ「フォレストリースクール」を行っています。ぐんま緑のインターパリターより講師を招き、昨年度は11月に、全学年で学校周辺や校庭を散策し、草花や樹木について学びました。5・6年生は、学校北側にそびえる金山（かなやま）のふもとで、間伐体験を行いました。間伐体験を通して、地域の自然環境の大切さとそれらを守る仕事について学びました。

今年度は7月に、全学年で学校の近くを流れる鮎川で、水生生物の採集を通して、環境と生物の関係について学びました。子供たちは、網を手に川に入り、石や草の陰に潜むオタマジャクシやサワガニ、シマドジョウやカジカなどを捕獲。見つけると「ここにもいた」「かわいい」と歓声を上げ、講師に生物の名を質問するなど学びを深めました。

講師から、「これらの生物は、きれいな川にしか生息しない」ことを聞くと、子供たちからは「きれいな鮎川を守らなくちゃ」「ゴミ拾いをしよう」などの声が聞こえてきました。

身近にある素晴らしい自然を肌で感じ、環境や生き物を大切にする心を育む機会となりました。毎年「稚鮎の放流」（4月）や「ホタル祭り」（6月）に参加して、地域の自然や地域の方々との交流を深めています（令和2・3年度はコロナ禍で中止）。

3年生の総合的な学習の時間では、世界遺産として藤岡市が誇る高山社学の一環で、カイコを育てています。その繭で座繰り体験をしたり、繭クラフトを作ったりする中で、地域の方から、世界に誇る「日野絹」について学んでいます。子供たちが、ふるさと日野の歴史や文化を知り、誇りに思う学びとなっています。

今後も、豊かな自然や歴史・文化をもつ、日野の恵まれた環境の中で、地域とともにSDGsの取組を継続・充実させ、子供たちの地域への誇りと愛着を高めていきたいと思います。

（校長 川田 貴子）

日野の自然・歴史・文化を学ぶ SDGsの取り組み

Nature
history
culture



金山での
「間伐体験」



14 湿地を守ろう



座繰り体験

